

平成 22 年 5 月 11 日現在

研究種目：基盤研究(C)
 研究期間：2007 ~ 2010
 課題番号：19530148
 研究課題名（和文） 貨幣的均衡の研究
 研究課題名（英文） On Monetary Equilibria

研究代表者 神谷和也 (KAMIYA KAZUYA) 東京大学・大学院経済学研究科・教授

研究者番号：50201439

研究代表者の専門分野：ミクロ経済学
 科研費の分科・細目：3601 理論経済学
 キーワード：貨幣、非決定性、マッチング

1. 研究計画の概要

本研究は、動学的貨幣経済モデルの一般的特性を明らかにすることを目的とする。具体的には、以下の3つの問題を分析する。

定常均衡の非決定性が生じるモデルを特定し、非決定性の背後にある一般的論理を明らかにする。

定常均衡が非決定の場合、いかなる政府の政策が効率的な配分をもたらすかを分析する。

市場制度の選択(例えば、オークション市場かワルラス市場かの選択)が経済厚生などの均衡の性質に及ぼす影響を分析する。

定常均衡に収束する均衡経路を分析する。

2. 研究の進捗状況

これまでに以下の結果を得た。
 定常均衡の非決定性を導くいくつかの論理を明らかにした。
 政府の政策に関するいくつかの結果を得た。
 オークション市場などの分析を行い興味深い結果を得た。
 未完成ではあるが、収束経路に関する結果を得ている。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

理由：当初の計画の大半はすでに達成している。

4. 今後の研究の推進方策

研究過程で明らかになった、非決定性に関する新しい論理について研究を行う。これは、Balasko and Shell が静学的貨幣モデルで主張したものの動学版であり、かなり新しい内容を含んでいる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

Kazuya Kamiya and Dolf Talman, "Matching Models with a Conservation Law: The Existence and Global Structure of the Set of Stationary Equilibria", *Journal of Mathematical Economics* 45, 2009, pp. 397-413. (査読有)

Kazuya Kamiya and Takashi Shimizu, "Existence of Equilibria in Matching Models of Money: A New Technique", *Economic Theory*, 32, 2007, pp447-460. (査読有)

Kazuya Kamiya and Takashi Shimizu, "On the Role of Tax-Subsidy Scheme in Money

Search Models", *International Economic Review*
48, 2007, pp. 575-606. (査読有)

〔学会発表〕(計2件)

"Hysteresis in Dynamic General
Equilibrium Models with Cash-in Advance
Constraints", General Equilibrium Theory
Workshop in Asia (GETA 2009), 2009年7月
31日, 早稲田大学.

"Dynamic Auction Markets in a Large Eco
nomy", General Equilibrium Theory Worksh
op in Asia (GETA 2007), 2007年8月18日,
National University of Singapore.

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕